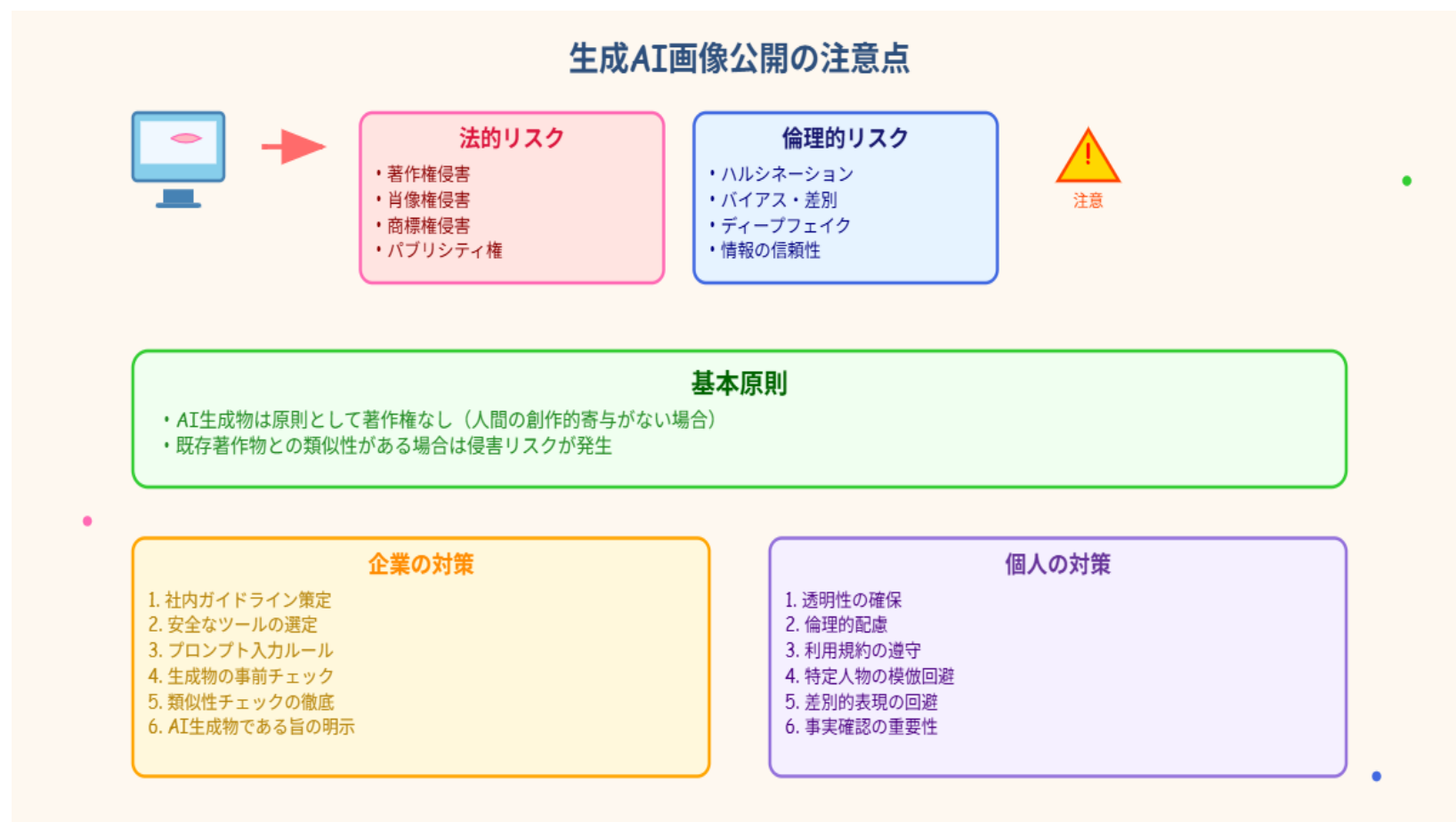


生成 AI によって作成された画像等を外部向けに公開する場合（資料等へ添付、動画公開等）の注意点

Felo AI



概要

生成 AI によって作成された画像や動画などのコンテンツを外部公開する際には、著作権、肖像権、商標権などの法的リスクと、誤情報拡散や差別的表現といった倫理的リスクが伴います。AI 生成物自体は、人間の創作的寄与がなければ著作物として認められず、著作権が発生しないのが基本原則です [10](#) [59](#) [67](#)。しかし、生成物が既存の著作物と酷似している場合や、AI の学習データに無断で利用された著作物が含まれている場合、著作権侵害と判断される可能性があります [1](#)

[15 32](#)。

特に商用利用ではリスクが格段に高まり、損害賠償請求や差止請求の対象となり得ます [1 26](#)。また、生成画像が実在の人物に似てしまう「誰かに似ている問題」は肖像権侵害のリスクをはらみ、著名人の画像を無断で利用すればパブリシティ権の侵害にもつながります [15 23 42](#)。さらに、AI が事実に基づかない情報を生成する「ハルシネーション」や、学習データに内在するバイアスが差別的な表現を生み出す倫理的課題も深刻です [4 30 31](#)。

これらのリスクに対応するため、企業は利用ツールやモデルの選定、プロンプト入力ルール、生成物の利用前チェックなどを定めた社内ガイドラインの策定が不可欠です [16 92 98](#)。安全な学習データを使用するツールの選択、生成物と既存コンテンツとの類似性チェックの徹底、そして AI 生成物であることの明示などが、安全な外部公開に向けた重要な対策となります [6 98](#)。

詳細レポート

1. はじめに：生成 AI 画像の普及と潜在的リスク

画像生成 AI は、テキスト指示（プロンプト）に基づき高品質な画像を自動生成する技術として、マーケティングや広告制作の現場で急速に活用が広がっています [23 77](#)。そのメリットは、コスト削減、制作スケジュールの短縮、そして実写や従来の CG では困難だった非現実的なビジュアル表現を可能にする点にあります [23](#)。飲料メーカーが広告に AI タレントを起用したり、クリスマスカードを生成するキャンペーンを展開したりと、企業活用事例も増加しています [77](#)。

しかし、この利便性の裏には、著作権、肖像権、商標権などの法的リスクや、ディープフェイクの悪用、差別的表現といった倫理的・社会的な問題が潜んでいます [23 30 79](#)。これらのリスクを理解せず安易に利用すると、意図せず権利侵害を犯し、企業のブランドイメージ毀損や訴訟といった重大なトラブルに発展する可能性があります [4 23](#)。したがって、生成 AI コンテンツを外部公開する際は、その潜在的リスクを正確に理解し、適切な管理体制を構築することが極めて重要です。

2. 著作権侵害のリスクと法的考察

生成 AI 画像の外部公開において、最も議論の中心となるのが著作権の問題です。このリスクは「AI 生成物自体の著作権」「学習データに起因する問題」「生成物の類似性」という 3 つの側面に大別されます。

AI 生成物自体の著作権

現行の著作権法では、著作物は「思想又は感情を創作的に表現したもの」と定義されており、人間の創作的関与が保護の要件です [18 44](#)。AI が自律的に生成したコンテンツは、この要件を満たさないため、原則として著作物には該当せず、

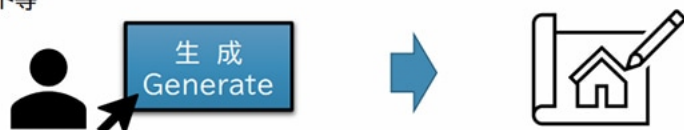
著作権は発生しません [10 59 67](#)。

AI生成物は「著作物」に当たるか・著作者は誰か



- AIが自律的に生成したものは、「思想又は感情を創作的に表現したもの」ではなく、著作物に該当しないと考えられます。

(例)人が何ら指示※を与えず(又は簡単な指示を与えるにとどまり)「生成」のボタンを押すだけでAIが生成したもの
※プロンプト等



- これに対して、人が思想感情を創作的に表現するための「道具」としてAIを使用したものと認められれば、著作物に該当し、AI利用者が著作者となると考えられます。

※前掲・著作権審議会 第9小委員会(コンピュータ創作物関係)報告書

ただし、人間がAIを単なる「道具」として使用し、生成プロセスに「創作的寄与」が認められる場合は、その生成物は著作物となり、利用者が著作者と見なされる可能性があります [10 20 27](#)。しかし、単に短いプロンプトを入力しただけでは創作的寄与とは認められにくく、どの程度の関与があれば著作物性が認められるかについては、まだ明確な基準が確立されていません [27 29](#)。

学習データに起因するリスク

現在主流の画像生成AIは、インターネット上から収集した膨大な画像データを学習しています [1](#)。この学習データには、著作権で保護された作品が無断で含まれている可能性が高いのが実情です [1](#)。日本の著作権法では、AI開発のための情報解析目的であれば、原則として著作権者の許諾なく著作物を利用できます(著作権法第30条の4など) [5 26 79](#)。

しかし、この規定は万能ではなく、「著作権者の利益を不当に害することとなる場合」は適用対象外となります [26 79](#)。また、AIの学習データに特定の著作物が含まれていた場合、生成物を利用する際に、その著作物への「依拠性」があったと判断される可能性があります [15 41](#)。これは、利用者がその著作物を直接知らなくても、AIを介して間接的に依拠

したと見なされるリスクを示唆しています [15](#)。

生成物の類似性によるリスク

AI が生成した画像を公開・販売する際には、通常の著作権侵害と同様の判断基準が適用されます [10 26](#)。つまり、生成物が既存の著作物と「類似」しており、かつ前述の「依拠性」が認められる場合、著作権侵害となります [44 79](#)。

実際に、中国では AI サービスが無断で「ウルトラマン」の画像を生成・商用利用したとして、著作権侵害が認められ、賠償命令が下された事例があります [9 77 78](#)。利用者は、生成物が特定のキャラクターや作品に酷似していないか、公開前に慎重に確認する義務があります。特に商用利用の場合は、権利侵害のリスクとそれに伴う損害賠償請求のリスクが格段に高まるため、より一層の注意が必要です [1 72](#)。

3. 肖像権・パブリシティ権・プライバシー権の侵害リスク

生成 AI は人物画像を容易に作成できるため、個人の権利を侵害するリスクも深刻です。

「誰かに似ている問題」と肖像権

生成 AI が意図せず実在の一般人や著名人に酷似した画像を生成してしまう「誰かに似ている問題」は、肖像権侵害の典型的なリスクです [23 42](#)。本人の許可なく、みだりにその容貌を撮影・公表されない権利である肖像権は、AI が生成した画像であっても適用される可能性があります [49](#)。Web サイトやポスターに掲載した AI 生成モデルが実在の人物に酷似していた場合、「自分の写真を無断で使われた」といったクレームや訴訟に発展する恐れがあります [23 24](#)。

パブリシティ権

著名人の氏名や肖像には、顧客を惹きつける経済的価値（パブリシティ権）があります [15](#)。著名人の写真などを AI に読み込ませて生成した画像を、本人の許可なく広告などに使用した場合、パブリシティ権の侵害として問題となる可能性が非常に高いです [15](#)。

ディープフェイクとプライバシー侵害

AI 技術を悪用し、特定の人物の顔を合成した精巧な偽画像・動画（ディープフェイク）を作成する行為は、深刻な社会問題となっています [4 12 30](#)。これらは名誉毀損やプライバシー侵害だけでなく、詐欺やフェイクニュースの拡散といった犯罪に利用される危険性も指摘されています [3 79](#)。

また、プロンプトに個人の氏名や所属といった個人情報を入力すると、その情報が AI の学習データとして利用され、情報漏洩につながるリスクがあります [15 22 34](#)。

4. その他の法的・倫理的リスク

著作権や肖像権以外にも、外部公開に際しては以下のリスクを考慮する必要があります。

リスクの種類	内容	関連法規・概念
商標権侵害	AI に商標登録されたロゴやデザインを学習させること自体は商標権侵害にはあたりませんが 52 58 、生成物が既存の登録商標と類似している場合、その生成物を商標として使用すると権利侵害になる可能性があります 17 35 。	商標法
不正競争防止法	生成 AI に企業の営業秘密や非公開の技術情報を入力した場合、それが外部に漏洩し、不正競争防止法上の問題に発展するリスクがあります 15 54 96 。	不正競争防止法
ハルシネーション	AI が事実と異なる情報や、実在しない出来事をあたかも本物のように画像生成する現象（ハルシネーション） 4 30 77 。これが拡散されると、情報の信頼性が著しく損なわれます 30 。	情報倫理
バイアスと差別	AI の学習データに含まれる社会的偏見（人種、性別、年齢など）が、生成物に反映さ	AI 倫理

リスクの種類	内容	関連法規・概念
	れることがあります 30 34 。 例えば、「経営者」と入力すると白人男性の画像ばかりが生成されるなど、ステレオタイプを助長し、差別的な表現につながる倫理的問題です 31 61 。	

5. 外部公開に向けた実践的リスク管理とガイドライン

生成 AI コンテンツを安全に外部公開するためには、組織的かつ体系的なリスク管理が不可欠です。

企業・組織における対策

多くの企業が、従業員が安全に AI を活用するためのガイドライン策定を進めています [16 25 85](#)。



- 社内ガイドラインの策定: 日本ディープラーニング協会（JDLA）などが公開するひな形も参考に、自社の状況に合

わせたルールを策定することが推奨されます [19 84 99](#)。サイバーエージェント社の事例では、「利用ツールの選定」と「使い方」を重視し、推奨ツールを指定した上で、それ以外の利用には法務・セキュリティ部門の事前申請を必須としています [98](#)。

- **利用ツールの選定:** 学習データの著作権がクリアされており、商用利用が明確に許可されているツール（例：Adobe Firefly）を選択することがリスク回避の第一歩です [98](#)。
- **利用プロセスの標準化:**
 - **プロンプト入力のルール化:** 特定のアーティスト名、キャラクター名、ブランド名などをプロンプトに含めることを禁止する [98](#)。
 - **生成物のチェック体制:** 生成された画像を利用する前に、必ず既存の著作物や商標と類似していないかを確認するプロセスを義務付ける [98](#)。
 - **リテラシー教育:** ガイドラインの内容を全従業員に周知徹底し、理解度テストを実施するなどして、リテラシー向上を図る [98](#)。

個人利用における対策

個人が SNS などで公開する場合でも、基本的な注意点は同様です。

- **透明性の確保:** AI によって生成されたコンテンツであることを明記する（例：「この画像は AI によって生成されました」） [6 11 89](#)。これは「打ち消し表示」とも呼ばれ、受け手の誤解を防ぐ上で有効とされています [6](#)。
- **倫理的配慮:** 特定のクリエイターの作風を意図的に模倣したり、他者を攻撃・中傷したり、差別を助長したりするようなコンテンツの生成・公開は避けるべきです [11](#)。
- **利用規約の遵守:** 使用する AI サービスの利用規約をよく読み、禁止されている用途（例：成人向けコンテンツの作成など）には使用しない [11](#)。

技術的対策の動向

クリエイターの権利を守るための技術開発も進んでいます。画像に特殊なノイズを加えて AI による学習を困難にする「emamori」のようなサービスや、コンテンツの来歴を証明する標準規格「C2PA」を画像に埋め込む OpenAI の取り組みなどがあります [77](#)。これらの技術は、将来的には AI 生成物の信頼性を担保する上で重要な役割を果たす可能性があります。

1. [画像生成 AI と著作権の基本ルール完全ガイド | 法的問題と安全 ...](#)
2. [AI 生成圖片，著作権歸誰？平面設計師、繪師面對 AI 工具](#)
3. [AI 生成画像：現実性と倫理的課題の探求 - Aidiot プラス](#)
4. [生成 AI のリスクを整理する | 3つの観点でリスクと対策を解説](#)

5. [生成 AI の開発時に注意すべき法的リスクとは？](#)
6. [AI 技術により自動生成した人物肖像の利用による肖像権侵害](#)
7. [【AI コラム vol.172】 AI が生成したものを公開する際に必要な ...](#)
8. [生成 AI は商標制度に影響を与えるか？：答）与えません](#)
9. [生成 AI で作った文章や画像は著作権侵害にあたるのか？利用 ...](#)
10. [生成 AI で作った文章・画像は、著作権法に違反していないのか？](#)
11. [AI 繪圖的法律、道德與未來展望 — 海洋大學圖書館](#)
12. [AI の倫理問題事例 7 選 | 発生の原因や対策について解説](#)
13. [生成 AI における画像の著作権は？内閣府の見解を簡単に解説](#)
14. [AI 画像生成の法的リスク（前編）：著作権法の基本を学ぼう](#)
15. [【2025】生成 AI 利用時に知っておくべき法律は？弁護士が ...](#)
16. [社内のクリエイターに向けて発表した「画像生成 AI ...](#)
17. [AI と商標の関係：生成 AI がもたらす商標実務の変化と注意点](#)
18. [AI の著作権はどうなる？生成 AI で生成した画像やイラストの ...](#)
19. [JDLA が、『生成 AI の利用ガイドライン（画像編）』を公開](#)
20. [AI 生成圖片、文章有版權嗎？小心，可能不是你的！](#)
21. [生成 AI のリスクとは？法的・倫理的・技術的リスクと対策](#)
22. [生成 AI の倫理的な課題：知っておきたい 5 つの問題点 — note](#)
23. [画像生成 AI 活用の法的リスク ～そのビジュアル — HintClip](#)
24. [【このままでいいの？】生成 AI と肖像権 — Zenn](#)
25. [Fujitsu 生成 AI 利活用 ガイドライン](#)
26. [AI が生成した画像の著作権はどうなる？注意点や事例も紹介](#)
27. [AI が生成した文章やイラストの著作権はどうなる？著作権侵害 ...](#)
28. [生成 AI の利用ガイドライン作成のための手引き](#)
29. [【智財案件】AI 生成圖片有著作権嗎？揭開著作権法保護對象的 ...](#)
30. [画像生成 AI の問題点とは？著作権・倫理・社会的リスクを徹底 ...](#)
31. [生成 AI 画像に潜む「差別リスク」の恐れ「経営者」は白人 ...](#)
32. [【知っておきたい】生成 AI 活用と著作権侵害のリスク](#)
33. [生成 AI で作成した人物画像の商用利用は本当に大丈夫？？？](#)
34. [生成 AI を活用する際の注意点と倫理ガイドライン — AI キャッチ](#)
35. [商標登録できる？DALL・E 画像の権利問題を徹底解説！ — note](#)
36. [AI で生成した画像をウェブサイトや製品紹介パンフで利用 ...](#)

37. [AIと著作権～画像生成AIにおける法的問題について](#)
38. [AI 生成的作品，可以商業使用嗎？](#)
39. [画像生成AIをめぐる倫理的問題の最新事情。各国で分かれる ...](#)
40. [生成AIを仕事で使って大丈夫？気にしておきたい倫理面のリスク](#)
41. [生成AIに関する著作権法上のリスクは？文化庁の ... - TD Synnex](#)
42. [画像生成AIの肖像権リスク「誰かに似ている問題」に対応する ...](#)
43. [生成AIガイドライン総まとめ！各社・各業界が発表したものや ...](#)
44. [AI生成物に著作権はある？勝手に学習すると著作権侵害 ...](#)
45. [【著作権】生成AIを使う時のルール - 知っておくべき重要な ...](#)
46. [【2024年版】AI生成画像の利用における著作権対策](#)
47. [AI生成圖像如何取得著作権保護？美國著作権局最新報告](#)
48. [AIで人物画像生成、手軽だけど危険がいっぱい！？SEOに ...](#)
49. [AIの倫理と法的課題 | AI活用入門 - Zenn](#)
50. [画像生成AIの著作権問題を分かりやすく解説 | 違法性の判断 ...](#)
51. [生成系AIが作ったイラストや文章に著作権はあるの？専門家に ...](#)
52. [生成AIの利用ガイドライン - Maison AI](#)
53. [生成AIは著作権違反？ビジネスで使用できる？著作物として扱 ...](#)
54. [生成AIで作成されたコンテンツに関する法的問題について ...](#)
55. [小心踩到AI著作権地雷！新時代工作者，應該知道的法律常識](#)
56. [AI生成物と著作権とAI倫理 - ABEJA Tech Blog](#)
57. [生成AIが著作権侵害になるのはどんな事例？法的リスクを ...](#)
58. [AIで作成した商標も登録対象に 特許庁が制度上の適用を確認](#)
59. [画像生成AIの著作権問題とは？注意すべきポイントを解説](#)
60. [AI生成烏薩奇違法？下指令就有著作権？合法使用AI的小撇步](#)
61. [オリンピックで再燃したAIの倫理問題を考える ... - Alsmiley](#)
62. [AIイラストで召喚したうちの子を最強に！？商標登録申請して ...](#)
63. [AI生成圖片做為商業使用 - 常明國際法律事務所](#)
64. [生成AIイラストを巡る議論に思うこと - 技術と責任の観点から](#)
65. [各画像生成AIの商用利用の可否まとめ - 株式会社 Nuco](#)
66. [能在研究報告中使用AI生成圖像嗎？你應該知道的一切 - AsiaEdit](#)
67. [生成AIで作った文章や画像は著作権侵害にあたるのか？利用 ...](#)
68. [画像生成AIを利用するときの注意点とは？トラブル事例や解決 ...](#)

69. [画像生成 AI の著作権問題とは？注意すべきポイントを解説](#)
70. [生成 AI で作った文章・画像は、著作権法に違反していないのか？](#)
71. [AI が生成した画像の著作権はどうなる？注意点や事例も紹介](#)
72. [生成 AI で作った画像は商用利用できる？リスクや注意点を徹底 ...](#)
73. [AI で画像を生成する際に注意すべき点は何ですか？ — note](#)
74. [【2024 年版】AI 生成画像の利用における著作権対策](#)
75. [【Web 制作】画像素材の著作権・AI 生成画像の注意点について](#)
76. [画像生成 AI が生成した画像は著作権を侵害する ... — AInformation](#)
77. [生成 AI で作った文章や画像は著作権侵害にあたるのか？利用時に留意すべきポイント](#)
78. [画像生成 AI の著作権問題とは？注意すべきポイントを解説 | SHIFT AI TIMES](#)
79. [AI が生成した画像の著作権はどうなる？注意点や事例も紹介 — AI 総研 | AI の企画・開発・運用を一気通貫で支援](#)
80. [画像生成 AI と著作権の基本ルール完全ガイド | 法的問題と安全 ...](#)
81. [社内のクリエイターに向けて発表した「画像生成 AI ...](#)
82. [生成 AI で作った文章・画像は、著作権法に違反していないのか？](#)
83. [生成 AI における画像の著作権は？内閣府の見解を簡単に解説](#)
84. [JDLA が、『生成 AI の利用ガイドライン（画像編）』を公開](#)
85. [「生成 AI 利活用ガイドライン」を一般公開 — Fujitsu Global](#)
86. [生成 AI の文書やイラストは著作権違反？権利の帰属先や侵害 ...](#)
87. [生成 AI 活用のための主要ガイドライン総まとめ — Qiita](#)
88. [AI と著作権～画像生成 AI における法的問題について](#)
89. [生成 AI ガイドライン一覧！政府・自治体・企業など](#)
90. [【AI コラム vol.172】AI が生成したものを公開する際に必要な ...](#)
91. [AI 倫理のガイドライン：企業が直面するリスク管理の新たな ...](#)
92. [生成 AI の利用ガイドライン作成のための手引き](#)
93. [画像生成 AI の問題点とは？著作権・倫理・社会的リスクを徹底 ...](#)
94. [生成 AI サービスの利用者が注意すべき法的ポイント](#)
95. [AI 生成コンテンツの商用利用における著作権・倫理問題 — note](#)
96. [生成 AI で作成されたコンテンツに関する法的問題について ...](#)
97. [企業が取り組む《生成 AI 活用ガイドライン》策定のいま](#)
98. [社内のクリエイターに向けて発表した「画像生成 AI ガイドライン」策定の裏側 | CyberAgent Way サイバーエージェント公式オウンドメディア](#)
99. [JDLA が、『生成 AI の利用ガイドライン（画像編）』を公開 — 一般社団法人日本ディープラーニング協会【公式】](#)

100.